

〈史料紹介〉

大正昭和初期山口県下の新聞紙発行状況

戸 島 昭

近代における活版印刷技術の導入によって、一般知識層を対象とする廉価な印刷物の発行が容易なものとなり、地方では都市部で発刊される新聞紙を郵便で購読する状況が進展し、やがて全国各地にも種々の地方新聞が創刊されることになる。そしてこの歩調は、自由民権運動の進展による政治的関心度の高まりに伴って、さらに決定的なものとなっていた。

すなわち、山口県下にあっても、明治六年（一八七三）一月の『山口県新聞』を嚆矢として、県庁所在地として

の山口町では、同十七年（一八八四）七月に県会議長吉富簡一の手で政治色の強い本格的な『防長新聞』が創刊されており、県政推進の一翼を担わせられると共に、中央から入ってくる自由民権運動思想に対抗する強力な手段として利用されるようになっていく。

一方、経済的な中心地としての赤間関では、明治十三年（一八八〇）一月に『馬関物価日報』が創刊されており、それ以後も実業的性格の強い新聞の刊行が続いている。

その後、明治二十年代に入ると、衆議院議員や地方議会議員の選挙制度の開始に伴って、このような地方新聞創刊の勢いは県内各地にも波及し、中央や地方議会における政治活動を反映した政治色の濃い新聞が発行されるようになったが、長州閥官僚の金城湯池としての山口県内では、中央議会における政党化を批判する空気が支配的で、新聞紙面の政党的色彩は薄かった。

しかし、明治三十三年（一九〇〇）九月には伊藤博文が立憲政友会を創設して第三次伊藤内閣を組織したり、さらに、大正二年（一九一三）十二月には桂太郎が立憲同志会を組織して政友会勢力に対抗させようとしたことなどから、伊藤や桂の出身地としての山口県下でも、政界がこれら中央における政党政治の変転に左右されて、各地方の新聞もそれぞれの政党性に塗り分けられ、新聞業界は一段と活況を呈し始めている。

この傾向は、例えば大正四年（一九一五）二月の『徳山時報』創刊号が、「本紙は他に類例なき一種独創の風十八年七月・十九年七月・二十年十月に作成されたものが残存しており、このうち大正十一年・十三年・昭和四年・五年・八年・二十年のものには警察部から提出された「演述書」が収められていて貴重である。特に高等課や特別高等課のものは、当時の政治的な活動状況を知る上で得がたい史料となっている。

すなわち、史料1は県警察部高等警察課が大正十年十二月末に調査した「県内発行新聞紙一覽」であり、五四紙に及ぶ多数の新聞がその対象となっている。この中には、厳密には新聞紙の範疇に入れることが不適切な雑誌類も含まれているが、いわゆる大正デモクラシーの風潮下で、県内の言論界も活況を呈していたことが読みとれる。

とりわけ、「備考」欄に付記された政党政派との関連は興味深く、いかに各地方新聞紙がその当時の政界と結びついて色分けされていたかを知ることができて、それぞれの紙面にあらわれた記事を読み込んでいく上での重

格を有する新聞なり」と主張し、ことさらに他の「県下新聞の色彩」を「防長新聞 厳正中立、閩門日々 同志会機関、馬関毎日 政友会機関、長周日々 同志会系、防長実業 旗幟不鮮明、六連報 国民党機関」と色分けしていることからして、また、『防長民論』が自らを「厳正中立」と標榜していることなどからも、容易に窮える時流であった。

史料解題

史料1は、中川望知事から橋本正治知事への事務引継書として、大正十一年（一九二二）一月に知事官房が内務部・警察部・学務部から報告を求めて編綴した「元山口県知事中川望・山口県知事橋本正治 事務引継」（県庁戦前B五四〇一― 山口県文書館蔵）の一部分をなすものである。

このような「長官事務引継書」は、他に大正十三年十月・十四年十月・昭和四年七月・五年九月・八年八月・

要な手懸りとなるであろう。

史料2は、大森吉五郎知事から黒崎真也知事への「事務引継書」の一部分で、やはり高等課が昭和四年（一九二九）六月の調査に基いて作成した「県下新聞紙一覽表」であるが、かなりその対象を絞り込んで、本格的な日刊・隔日刊新聞紙に限定して調査を実施している。

これを八年前の調査になる史料1と比較してみると、隔日刊行であった「徳山新聞」の名前が見えず、大正十年末の調査であがっていた月十回刊行以下の小新聞の多くは統廃合などもあって姿を消しており、新聞紙業界の厳しい生存競争に勝ち残って、日刊紙に上昇したものは「宇部時報」のみであった。

反面、この六年間に新しく創刊されて、昭和四年六月の調査で初めて登場してきた日刊・隔日刊の新聞名は四紙にのぼっており、新聞購読者層の拡大に支えられて、依然として地方新聞の創刊熱は高いものであったと考えられる。

史料3は、黒崎知事から平井三男知事への「事務引継書」の一部分で、同様に高等課が昭和五年（一九三〇）八月の調査によって作成した「県下新聞紙一覧表」である。

これを史料2と比較してみると、まだわずかに一年余しか経過していないこともあって、大きな変動が見られないため、同四年六月の調査と重複する二〇紙については省略したが、めまぐるしい政友会と民政党の政権交代に影響されて、全二三紙の政党関係は、政友派一・民政派八・無四という色分けになっており、政党関係「無」が減少して一段と政党的色彩が濃くなっている。

史料4は、岡田周造知事から菊山嘉男知事への「事務引継書」の一部で、やはり高等課が昭和八年（一九三三）八月の調査に基いて作成した「県下日刊新聞紙一覧表」である。

これも同様に、史料3と比較してみると、三年の間に六紙が姿を消して新たに一三紙が登場しており、発行回

数以下の各記載内容にもかなりの変動があるが、同五年八月の調査と重複する一八紙についてはこれを省略した。

また、全三一紙の政党関係は、政友派が一六紙に増えたものの、逆に民政派が六紙に減っており、政党関係「無」が八紙に急増していることと勘案すると、全体的には政党政治の崩壊によって政党離れ現象が始まっていると考えられる。

さらに特に目立つことは、下関市において無産政党系の社会民衆党が『明倫新聞』五〇〇部を発行しており、初めてこの調査に登載されていることであろう。

以上の史料1〜4に対比して、昭和五十九年（一九八四）二月末の調査で、主要な資料保存公開機関における山口県内発行新聞紙の架蔵状況がわかるようにしたものが附表1〜4であり、『防長新聞』については別に附表5を作成した。

この附表のうち、各新聞紙の創刊日については努めて調査を行なったが、不明なものが多いため、第三種郵便物認可日をも一応の目安として併記した。しかし、これについては前身紙の認可日をそのまま受け継いで記載しているものや、途中で再認可を受けたと思われるものもあり、必ずしも役に立つものとなっていない。

次に、附表6「県内発行新聞紙一覧（追加）」については、史料1〜4にあがっていない戦前の県内新聞紙を諸目録で調査し、山口県文書館・県立山口図書館・宇部市立図書館に架蔵されているものは直接現物を点検しながら、史料1〜4の様式に準拠した一覧表の作成を試みた。このうち、各新聞紙の発行人と編集人については、しばしば交代があり、そのすべてをあげることは不可能なので、現物調査が可能であった最古の新聞紙面に記載された人物名を掲げたものである。

今回、この架蔵状況調査にあたっては、『全国公共図

書館逐次刊行物総合目録第四巻中国編四国編」（昭和41年・国立国会図書館刊）と『山口県内公共図書館逐次刊行物保存一覧』（山口図書館協会報NO17付録・昭和56年3月刊行）に『全国マイクロ新聞所蔵一覧』（昭和56年9月現在・国立国会図書館編）を加えた三目録を手懸りにして、東京大学『明治新聞雑誌文庫所蔵新聞目録』（昭和52年10月編）や『山口県立山口図書館郷土資料目録』（昭和44年10月刊）を初めとする県内主要図書館等の刊行済みの郷土資料目録を参考にした。

また、山口県文書館に架蔵されている諸家文書については、すべてその目録に目を通して、いちいち現物を点検して遺漏のないことを期したつもりである。

もとより、これら地方新聞紙の資料的価値は広範で、近現代史を民衆の視点から研究しようとする者に対して、貴重な史料を提供してくれるものであるが、とりわけその政党派との関連を知った上で、その社説などの

大正昭和初期山口県下の新聞紙発行状況（戸島）

記事内容を批判的に検討していけば、一段とその利用価値は増すものであろう。この意味で、次に掲げる史料1、4は紹介に値するものと思われるし、今後の地方新聞の所在調査・収集活動にも有力な手懸りを提供してくれるものとなるであらう。

さらには、粗悪な酸性紙に印刷された新聞紙自体の崩潰と、その公開利用上における損傷を最小限に喰い止めるための、マイクロ撮影などによる保存対策の推進に役立てば幸である。

史料1

附表1

県内発行新聞紙一覽							大正十年十二月二十七日現在	
題号	発行回数	毎月平均発行部数	保証金の有無	発行所	社長	備考	創刊日 (第三種郵便物認可日)	架蔵状況
関門日日新聞	日刊 朝夕刊	七十五万部	有	下関市 東南部町	末光鉄之助	憲政会派	明44・6・15 (明25・4・19)	山口図書館M44%、T5%、T6%、8%、T9%、S17% 明治新聞雑誌文庫T9%、(欠陥)
馬関毎日新聞	同	三十万部	同	下関市 西端町	秋田寅之介	政友会派	(明25・3・25)	明治新聞雑誌文庫M25%、M30%、% %M33%、M38% 中尾家文書M28%、M30%、%
防長新聞	日刊	十二万部	同	吉敷郡 山口町	吉富 寅太	中立	明17・7・15 (明17・7・15)	勝間田家文書・山口図書館・小田家文書 明治新聞雑誌文庫・片山家文書 河野家文書・原田家文書・明城文庫
防長実業新聞	同	十万部	同	佐波郡 防府町	三隅 哲雄	憲政会派 (同会ヲ機關紙)	(明29・2・17)	明治新聞雑誌文庫M30%、% 原田家文書M30%、%、% 山口図書館M45%、T4%、T6%、%、%
関門報知新聞	同	六万部	同	下関市 赤間町	川西 定雄	憲政会派		
長州新聞	同	二万部	同	阿武郡 萩町	鈴木 美徳	党派関係	(明44・6・9)	
徳山新聞	隔日	五千部	同	都濃郡 徳山町	属 喜太郎	同		
長門新聞	月十回	三万二千部	同	豊浦郡 小月村	藤永 幸蔵	不偏不党		
長陽新報	週刊	二千五百部	同	厚狭郡 小野田町	姫井 伊介	同		

大正昭和初期山口県下の新聞紙発行状況（戸島）

大正昭和初期山口県下の新聞紙発行状況（戸島）

宇部時報	長周新報	関西明鏡新聞	大島新聞	山口新聞	フースヒー	防長日日新聞	山口県青年団新聞	国粹時報	農界新報	防長時報	日本太郎
週刊	五月五回	三月三回	同	同	同	同	同	同	同	同	月三回 不定期
七千二百部	七千五百部	八千部	七千四百部	老千部	三千部	一千部	二千部	五千部	一万二千部	六百部	六百八十部
有	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
宇部市	宇部市	玖珂郡柳井町	大島郡小松町	吉敷郡山口町	佐波郡防府町	都濃郡徳山町	玖珂郡伊陸村	下関市中田町	吉敷郡山口町	宇部市小串	阿武郡萩町
高良 宗七	阿山石三郎	岡部新五左衛門	笹井 貞三	秋田 伊三	杉村 良一	岡部新五左衛門	福重 信治	岡本才治郎	永見 貞一	片岡 主計	栗屋 芳亮
政友会派	中立	党派ナシ	同	同	党派ナシ	同	同	同	同	同	同
明45.7.15											
宇部図書館（写真）M45年S16%											

大正昭和初期山口県下の新聞紙発行状況（戸島）

大阪時事新報	下関善栄商報	大 防 府	防長公論	弦声時報	柳井新報	ひびき新聞	防長医業評論	日本之関門	山口県農會報	山口県教育	女子道
月三回 以下 不定期	同	二月二回	同	同	同	一月一回	同	同	同	同	同
三千部	一千部	一千二百部	六百部	三千部	千四百部	一千部	一千部	七千部	二千四百部	一千六百部	一千部
有	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
下関市西端町	下関市岬之町	佐波郡防府町	都濃郡下松町	吉敷郡山口町	玖珂郡柳井町	吉敷郡小郡町	佐波郡防府町	下関市東南部町	吉敷郡山口町	吉敷郡山口町	都濃郡鹿野村
下関号外主任 小林 恒蔵	善長 定吉	岡崎幸右衛門	久保 茂一	永見 貞一	藤田 鎮夫	小須賀 勲	弘中 讓三	柳 広一	山口県農會長 滝口 吉良	山口県教育會 副会長 延連	宮本 藤子
号外ハ 政友会派 ナシ	政友会派 ナシ	同	同	同	同	政友会派 ナシ	政友会派	党派関係 ナシ	同	同	同
							明42				
			明治新聞雑誌文庫M33%				山口図書館S11%、17%（欠29）			山口図書館M37.19%、T6.217%（欠14） T7.218%、9.252%（欠1）、T10.253%、12.284% 号明治新聞雑誌文庫M39%、1%（欠1）	

熊毛時報	鴻陽新報	防長時論	防長殖民新報	鳳陽	日本新聞	かむろ	山口育児院報	防長之水産	興風時報	長州育英	神教	
同	同	同	同	不定期	同	同	同	同	同	同	一月一回	
六百部	三百部	一千部	七百部	一千二百部	一千五百部	三百四十部	一千部	四百五十部	一千部	七百部	一千部	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	有	
玖珂郡 柳井町	吉敷郡 山口町	吉敷郡 小郡町	熊毛郡 上関村	商業学校	山口高等	佐波郡 防府町	大島郡家 室西方村	吉敷郡 山口町	吉敷郡 山口町	玖珂郡 岩国町	豊浦郡 勝山村	熊毛郡 上関村
上杉 久吉	中末秀太郎	西村一馬	岩木喜作	水田淳亮	尾崎馨児	柳原良助	荒川道隆	山口県 水産組合 長延連	塩井亮吉	萩崎新助	村田景治	党派関係 ナシ
(休刊多シ)	同	(休刊多シ)	同	同	(休刊多シ)	同	同	同	同	同	同	同

大下関時報	六連報	大島教育	東亜経済研究	下関大西商報	防長郷土新報	精神主義	学校より 家庭に	美宝堂卸売内報	桜館週報
一月一回	同	隔月 十五日一回	年一回 七月十四日一回	二月一回	一月一回	同	年一回 六月三回	以内 不定期	週刊
一千二百部	十五部	一回一千部	一回一千三百部	一千二百部	百部	五百部	一回一千七百部	一回一千部	二千部
有	同	同	同	無	同	同	同	同	同
下関市 豊前田町	豊浦郡 彦島町	大島郡 久賀町	山口高等 商業学校	下関市 東南部町	佐波郡 防府町	下関市 西細江町	豊浦郡 長府町	下関市 岬之町	宇部市 西新川
小林金一	代議士 佐々木安五郎	大島郡教育会長 秋本考太郎	校長 横地石太郎	大西善平	市山真夫	大河原千代次	豊浦尋常高等 小学校校長 榎一	北野音吉	岩田利平
党派関係 ナシ	同	政党関係 ナシ	同	同	同	同	(休刊多シ)	同	同

山口新聞雑誌文庫
 山瀬図書館・下関図書館
 廣瀬図書館・長府図書館
 宇部図書館・防府図書館
 萩図書館

以外は
 山口県文書館
 館架蔵

大正昭和初期山口県下の新聞紙発行状況(戸島)

県下新聞紙一覽表

昭和四年六月一日現在

題号	発行回数	発行部数	資本金額	発行所	社長名	政党関係	創刊日 (第三種郵便物認可日)	架蔵状況 昭和59年2月末現在
関門日日新聞	日刊	三、四三	六、〇〇〇	下関市	未光鉄之助	民政派	明44・6・15	長府図書館 T 15% 月輪寺文庫 S 5% 下関文書館 原田家文庫 S 8% 山口図書館 M 36% S 10% (欠 T 15 4 6 10月) 片山家文書 M 38% 山口図書館・萩図書館・防府図書館・山田家文書・村上家文書 山口図書館 マイクロ M 17% S 17% (欠アリ)
馬関毎日新聞	"	三、五〇〇	—	下関市	松原 良一	民政派	明25・4・19	山口図書館 S 15% S 16% 宇部図書館(写真) S 4% S 16%
防長新聞	"	八、五〇〇	三、〇〇〇	山口市	吉富 寅太	政友派	明17・7・15	山口図書館 S 4% S 5% S 6% 河野家文書 T 5% S 5% (欠 T 6% S 21%)
防長実業新聞	"	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	山口市	木村菊三郎	民政派	明29・2・27	山口図書館 S 9% S 10% S 11% S 15%
関門報知新聞	"	四〇〇	三、〇〇〇	下関市	川西 定雄	民政派	(明44・6・9)	山口図書館 S 12% S 13% S 15%
長州新聞	"	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	阿武郡 萩町	鈴木 美徳	政友派	明45・7・15	山口図書館 S 12% S 13% S 15%
宇部日日新聞	"	一、六〇〇	—	宇部市	阿山右三郎	政友派	(大3・9・21)	山口図書館 S 12% S 13% S 15%
防府公新聞	"	四〇〇	—	佐波郡 防府町	西村 常三	政友派		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
日本電報	"	三〇〇	—	下関市	磯部弥太郎	無		山口図書館 S 12% S 13% S 15%

宇部時報	日刊	三、四〇〇	—	宇部市	脇 順太	政友派	明45・7・15	山口図書館 S 12% S 13% S 15%
長周日日新聞	"	一、五〇〇	—	阿武郡 萩町	横山 直造	無		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
徳山日日新聞	"	二、〇〇〇	—	都濃郡 徳山町	神崎 建蔵	政友派		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
商通時報	"	六〇〇	—	下関市	林 松次郎	政友派		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
防長毎日新聞	"	五三三	三、〇〇〇	厚狭郡 厚狭町	道城 讓	政友派		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
昭和実業新聞	"	二〇〇	—	都濃郡 徳山町	津川 文一	無		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
新 関 門	"	三〇〇	—	下関市	夏秋 茂	民政派		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
連 合 通 信	"	三〇〇	—	下関市	船木 重光	無		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
小野田日日新聞	"	三〇〇	—	厚狭郡 小野田町	倉田 虎彦	無		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
柳井日日新聞	"	三〇〇	—	玖珂郡 柳井町	上杉 久吉	政友派		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
萩実業新聞	"	二、五〇〇	—	阿武郡 萩町	助藤 肇	無		山口図書館 S 12% S 13% S 15%
周南日日新聞	"	五〇〇	—	都濃郡 徳山町	松原 政之	無		山口図書館 S 12% S 13% S 15%

大正昭和初期山口県下の新聞紙発行状況(戸島)

日刊萩新聞	日刊	三〇〇〇	阿武郡萩町	西村一馬	無	明治新聞雜誌文庫	
防府二六新聞	〃	二〇〇	佐波郡防府町	阪本藤右衛門	民政派	山口新聞書館	
岩国毎日新聞	隔日	二二三	玖珂郡岩国町	吉田喜平	政友派	山口新聞書館	
其他	有保証金	月四回以上	七			山口新聞書館	
		月三回以下	八一			山口新聞書館	
	無保証金	日刊	二			山口新聞書館	
		月四回以上 月三回以下	二八			山口新聞書館	以外は 山口県文書館架蔵

史料3

県下新聞紙一覽表

題号	発行回数	発行部数	資本金額	発行所	社長名	政党関係	創刊日 (第三種郵便物認可日)	架蔵状況 昭和59年2月末現在
	昭和五年八月一日現在							
	年月日							
	架蔵先							

附表3

自由日報	日刊	一、二〇〇	一	下関市	野口尚太郎	政友派		
日刊西日本	〃	一、〇〇〇	一	下関市	小森園勇	政友派		
関門毎夕新聞	〃	三、八〇〇	三、〇〇〇	下関市	脇永一人	政友派	(昭51?)	梶山家文書S8%

有保証	日刊	二三	無保証	日刊	二
	四回以上	一一		四回以上	二
三回以下	七三	三回以下	二九		

史料4

県下日刊新聞紙一覽表

題号	発行回数	発行部数	資本金額	発行所	社長名	政党関係	創刊日 (第三種郵便物認可日)	架蔵状況 昭和59年2月末現在
	昭和八年八月一日現在							
	年月日							
	架蔵先							

附表4

大正昭和初期山口県下の新聞紙発行状況（戸島）

山口日報	日刊	六五〇	山口市	清永多一郎	政友派	昭5.11.28 山口図書館S5% 17% 7% 14% 18% 11.8
佐波民報	"	七〇〇	防府町	山根梅市	政友派	
明倫新聞	"	五〇〇	下関市	市河元治	社民党	
防長日報	"	五〇〇	萩市	長野一馬	無	
関門毎日新聞	"	七〇〇	防府町	今津隆士	民政派	
宇部日報	"	二二〇〇	宇部市	森隆孝	政友派	
日刊防長新報	"	四〇〇	宇部市	吉村幸作	民政派	
商業通信	"	二五〇	下関市	岡野信明	無	
日本太郎	"	六〇〇	萩市	粟屋芳亮	政友派	
戦線新聞	"	三〇〇	長府町	福岡勇雄	無	
宇部毎日新聞	"	三〇〇	宇部市	星加佐一郎	民政派	
中外日日新聞	"	二五〇	長府町	夏秋茂	政友派	

附表5 防長新聞架蔵状況（昭和59年2月末現在）

号外新聞	日刊	三〇〇	長府町	長田高治	無	
.....（1紙略）.....						
有保証	日刊 四回以上 三回以下	三二 一一 七三	無保証	日刊 四回以上 三回以下	二 二 五一	山口日報は山口県立山口図書館架蔵

架蔵先	勝間田家文書	M 17 ¹ / ₁₆ ~ 19 ⁸ / ₃₁ (欠M 18 ² / ₁₆ ~ 19 ² / ₁₆ ~ 19 ³ / ₁₆ ~ 19 ⁴ / ₁₆ ~ 19 ⁵ / ₁₆ ~ 19 ⁶ / ₁₆ ~ 19 ⁷ / ₁₆ ~ 19 ⁸ / ₁₆)	M 19 ¹ / ₁₆ ~ 19 ² / ₁₆ ~ 19 ³ / ₁₆ ~ 19 ⁴ / ₁₆ ~ 19 ⁵ / ₁₆ ~ 19 ⁶ / ₁₆ ~ 19 ⁷ / ₁₆ ~ 19 ⁸ / ₁₆ ~ 19 ⁹ / ₁₆ ~ 19 ¹⁰ / ₁₆ ~ 19 ¹¹ / ₁₆ ~ 19 ¹² / ₁₆ ~ 19 ¹³ / ₁₆ ~ 19 ¹⁴ / ₁₆ ~ 19 ¹⁵ / ₁₆ ~ 19 ¹⁶ / ₁₆)
	宇部図書館	(マイクロM 17 ¹⁹ / ₁₉ ~ 21 ⁵ / ₃₀ (欠号多シ)	M 32 ¹ / ₁ ~ 44 ¹² / ₂₄ (欠号多シ)
	山口図書館	M 19 ⁸ / ₁ ~ 20 ¹ / ₃₀ ~ 12 ¹ / ₂₈	M 21 ⁵ / ₁ ~ 5 ³⁰
		M 21 ⁵ / ₁ ~ 5 ³⁰	M 36 ¹ / ₁ ~ T 2 ² / ₂₈
		% S 10 ¹ / ₁ ~ 17 ¹ / ₃₀	T 3 ¹ / ₁ ~ 4 ¹ / ₂₈
		(マイクロM 17 ¹⁵ / ₁₅ ~ S 17 ¹ / ₃₀)	T 5 ¹ / ₁ ~ 10 ⁶ / ₂₈
			T 11 ¹ / ₁ ~ S 9
		M 21 ¹ / ₁ M 27 ³ / ₂₇ M 30 ¹ / ₂ M 33 ¹ / ₁₂ T 4 ⁸ / ₁ ~ 8 ¹ / ₃₁	
	明治新聞雑誌文庫		

大正昭和初期山口県下の新聞紙発行状況（戸島）

山口県文書館	防府図書館	山田家文書	村上家文書	原田家文書	明城文庫	萩図書館	河野家文書	片山家文書	小田家文書
〔マイクロM 17 $\frac{1}{15}$ ・19 $\frac{8}{3}$ M 32 $\frac{1}{1}$ ・30 $\frac{1}{30}$ ・12 $\frac{1}{21}$ ・33 $\frac{8}{30}$ M 34 $\frac{1}{10}$ ・36 $\frac{6}{30}$ 〕	S 16 $\frac{1}{1}$ ・12 $\frac{1}{2}$ S 20 $\frac{7}{1}$	T 6 $\frac{1}{2}$	T 3 $\frac{5}{15}$ ・12 $\frac{1}{21}$ ・12 $\frac{1}{4}$ ・12 $\frac{1}{3}$ ・12 $\frac{1}{4}$ ・12 $\frac{1}{9}$ ・12 $\frac{1}{13}$ ・12 $\frac{1}{15}$ ・12 $\frac{1}{17}$	M 40 $\frac{8}{4}$	M 37 $\frac{1}{1}$ ・6 $\frac{29}{29}$ ・7 $\frac{1}{1}$ ・12 $\frac{28}{28}$ M 38 $\frac{1}{5}$ ・6 $\frac{30}{30}$ ・12 $\frac{28}{28}$	M 34 $\frac{1}{1}$ ・S 17 $\frac{1}{1}$ S 20 $\frac{5}{1}$	M 29 $\frac{1}{2}$ M 32 $\frac{2}{2}$ ・6 $\frac{30}{30}$ (欠号4) 12 $\frac{21}{21}$ ・M 33 $\frac{8}{10}$ (欠号9) M 36 $\frac{12}{20}$ M 41 $\frac{1}{1}$ ・8 $\frac{13}{13}$ (欠号22) M 42 $\frac{4}{3}$ ・4 $\frac{1}{8}$ (欠号1)	M 26 $\frac{8}{6}$ ・8 $\frac{1}{8}$ ・8 $\frac{24}{24}$ ・8 $\frac{25}{25}$ ・8 $\frac{27}{27}$ ・8 $\frac{29}{29}$ ・9 $\frac{1}{1}$ M 37 $\frac{12}{11}$ ・12 $\frac{13}{13}$ ・12 $\frac{14}{14}$ M 41 $\frac{5}{17}$	M 23 $\frac{8}{2}$

附表 6

県内発行新聞紙一覽(追加)

明治・大正・昭和二十年

題号	発行回数	発行部数	保証金の有無	発行所	発行人	政党関係	創刊日 (第三種郵便物認可日)	架蔵状況
山口県新聞	二月二回			吉敷郡山口町	山口集珍堂		明6・1	県庁前A総務M 6 $\frac{1}{1}$ ・1 $\frac{1}{1}$
鴻城新聞	十月十回			吉敷郡山口町	天野雅		明10・5・1	明治新聞雑誌文庫M 10 $\frac{1}{1}$ ・1 $\frac{1}{1}$ 一般郷土史料M 10 $\frac{1}{1}$ ・1 $\frac{1}{1}$ (欠11)
馬関物価日報	日刊			赤間関区東南部町	桑田文輔		明13・1・7	山口図書館M 43 $\frac{4}{4}$ ・4 $\frac{1}{1}$ ・M 44 $\frac{1}{1}$
下関実業日報 (馬関物価日報を改題)	日刊			下関市西之端町	河村峯太郎		(明25・4・15)	山口図書館M 43 $\frac{4}{4}$ ・4 $\frac{1}{1}$ ・M 44 $\frac{1}{1}$
馬関新報	五月五回			赤間関市	同			明治新聞雑誌文庫M 22 $\frac{2}{2}$
るなか新聞	日刊			吉敷郡山口町	宗方伝吉		(明25・3・27)	河野家文書M 33 $\frac{1}{1}$ ・1 $\frac{1}{1}$ (欠1)
長周日報	日刊			吉敷郡山口町	井上幸一 山田友三		(明23・2・27)	河野家文書M 28 $\frac{2}{2}$ ・2 $\frac{1}{1}$ ・M 32 $\frac{2}{2}$ ・2 $\frac{1}{1}$ ・M 32 $\frac{2}{2}$ ・2 $\frac{1}{1}$ ・M 32 $\frac{2}{2}$ ・2 $\frac{1}{1}$ (欠3)
新長州	二月二回			吉敷郡原朝田村	藤村淳一 藤井哲三		(明25・3・8)	片山家文書M 26 $\frac{1}{1}$ ・1 $\frac{1}{1}$
鳳陽新報	五月五回			吉敷郡山口町	西川善三郎		(明25・3・27)	明治新聞雑誌文庫M 24 $\frac{1}{1}$ ・1 $\frac{1}{1}$ ・2 $\frac{1}{1}$ ・2 $\frac{1}{1}$ ・M 26 $\frac{1}{1}$ ・1 $\frac{1}{1}$ (欠1)

長北	長州	関西日日新聞 (関西新報を改題)	長周日日新聞 (関西日日新聞を改題)	四方日報	萩時報	山口県友新聞	徳山時報	徳山時事新報	周北新聞	防長民論	蒲野報知
一月一回	三月一回	日刊	日刊	日刊	週刊	六月一回	六月一回	六月一回	六月一回	一月一回	二月一回
有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
阿武郡地福村	阿武郡徳佐村	佐波郡三田尻村	佐波郡防府町	阿武郡萩町	都濃郡徳山町	都濃郡徳山町	都濃郡徳山町	徳山町	徳山町	佐波郡防府町	大島郡蒲野村
板垣亀之進 野田作一	柏村一介	佐々木宇一 内山直三	棟居勸次	同	同	同	同	同	同	同	同
厳正中立	厳正中立	厳正中立	厳正中立	厳正中立	厳正中立	厳正中立	厳正中立	厳正中立	厳正中立	厳正中立	厳正中立
昭28.6.25 (明28.7.9)	昭30.9.15 (明30.10.12)	昭29.2.17 (明29.2.17)	昭44.8.11 (明44.8.11)	昭4.2.12 (大4.2.12)	昭11.11.4 (大11.11.4)	昭3.3.20 (大15.11.18)	昭4.7.10 (昭4.7.10)	昭4.7.10 (昭4.7.10)	昭4.7.10 (昭4.7.10)	昭12.5.10 (昭12.9.28)	昭17.2.1 (昭17.2.1)
片山家文書M28%、30% (欠2)	片山家文書M30%、31% (欠10)	明治新聞雑誌文庫M33%	明城文庫M37%、38% 明治新聞雑誌文庫M38%、40%、T4% (欠ア)	明治新聞雑誌文庫M37%	明治新聞雑誌文庫M44%、%	月輪寺文書T%	山田家文書T12%	山田家文書T4%	月輪寺文書S2%、%	山口図書館S3%、4% 山口図書館S4%、10% 下関文書館原田家文書S8%、9%、%	山口図書館M15%、%

蒲野報知新聞 (改題)	大島報知新聞 (蒲野報知新聞を改題)	関門タイムス	大宇部	関門日報 (関門日日・防長・宇部時報を合併)	山口新報
二月一回	二月一回	二月一回	一月一回	一月一回	一月一回
有	有	有	有	有	有
大島郡蒲野村	大島郡蒲野村	平田貞一	宇部市	下関市	東南部町
平田貞一	平田貞一	同	渡辺翁 記念文化協会	岡富士雄	村尾亀一
昭3.6.25 (昭4.7.10)	昭4.7.10 (昭4.7.10)	昭4.7.10 (昭4.7.10)	昭12.5.10 (昭12.9.28)	昭17.2.1 (昭17.2.1)	昭17.2.1 (昭17.2.1)
山口図書館S3%、4%	山口図書館S4%、10%	山口図書館S4%、10%	宇部図書館S12%、18% 山口図書館S14%、18% (欠5)	山口図書館S17%、20%、マイク口落 萩図書館S17%、18% (欠3カ月)	山口図書館M15%、%